

雨乞岳・東雨乞岳山行

山行日：2023年5月20日（土）

班名：ここゆめ班

参加者：K. Y（CL）、T. D（SL）、Y. S（会計）、H. F（記録）、J. H

記述：K. Y

コース：和歌山市 5：00－武平トンネル西口駐車場 8：00－沢谷峠 8：45－七人山 10：20
－東雨乞岳 10：50（昼食）－雨乞岳 11：50－三人山 12：45－沢谷の頭 13：25－沢谷峠
14：00－武平トンネル西口駐車場 14：55－湯の山温泉希望荘 15：20－和歌山市 19：10

今回、雨乞岳を周回ルートで登りました。雨乞岳は、鈴鹿山脈第2の高峰で、360度の展望がある人気の山です。山頂の「大峠の沢」と呼ばれる池で雨乞の儀式が行われたことが名前の由来だそうです。

【満車の駐車場】

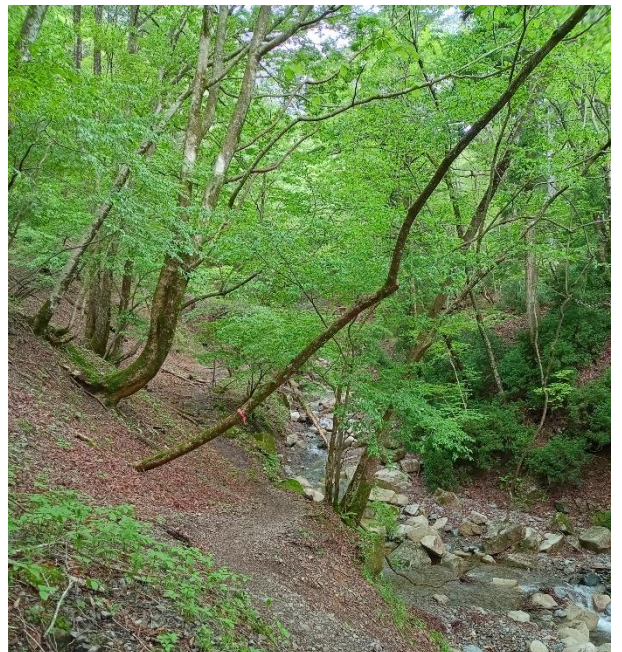
駐車場入り口に、登山届のポストがあります。川に沿った登山口から入るとすぐに植林の中の登りが始まります。ピンクリボンが至る所にあり、道迷いもなく登りやすい道です。

登り始めて40分ほどで沢谷峠に到着。

【沢谷峠】



沢谷峠からは、沢沿いの道を美しい緑を縫って歩きます。



道沿いには色んな花が咲いています。



【イワカガミ】



七人山に到着。展望なし
早々に次の東雨乞岳を
目指す。



【七人山】



【クマザサに覆われた道】

東雨乞岳への最後の急登。途中からは高い木が無くな
背丈ほどあるクマザサの細い道をひたすら登ります。



【東雨乞岳山頂で記念写真】

10:50AM、東雨乞岳に到着。山頂では約30名の登山者がおり、我々は早い昼食をとり約50分の休憩をとりました。天気が良ければ360度の展望が望めるはずですが、ガスの為あまり展望がありませんでした。

時折雲の切れ間から鎌が岳と御在所岳が見える程度です。

11:40AM 次は雨乞岳に向かいます
雨乞岳への登山道も、背丈ほどのクマザサ
の中を登ります。前方に見えるのが雨乞岳
ですが、標高差は13mですがかなり高く
感じます。
距離も相当あるように感じますが、11:46
AMには雨乞岳到着。所要時間は6分でした。



【雨乞岳山頂】



【東雨乞岳から雨乞岳への登山道】

雨乞岳での休憩は約10分。後は東雨乞岳
まで戻って下山開始です。途中に三人山
がありますが、展望全くなく素通り。

下山道は、足元が悪く滑りやすい。さらに、登りではあまり気にならなかったが、片側が
谷になったトラバースがあり落ちれば死にそうです。計画では周回コースであったが、途
中でコース変更し、登りのルートに合流する。
2:55PM 予定より25分遅れで無事下山。

下山後は、お楽しみの温泉へ。駐車場から
約10分の湯の山温泉希望荘の「自助の湯」へ。
入浴料600円でリーズナブルです。また、
本館から温泉のある別館へはケーブルカー
での移動です。温泉からの眺めも最高です。
ぜひ、お試しください。



【ケーブルカーで温泉へ】

今度は、ヒルのいない時期の快晴の時に訪れたい山でした。